

令和8年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1	議席 番号	6	氏名	中 野 健太郎 議員	1 / 2
発言項目				要 旨		答弁者
1	新富士市長誕生！これからの連携は			<p>富士市では昨年12月に市長選挙が行われ、新たな市長が誕生した。富士市と富士宮市は、通勤・通学、医療、産業など多方面で生活圏を共有する、極めて関係の深い隣接自治体である。富士市との連携について、須藤秀忠市長はどのような認識を持ち重要性を感じているのか、以下伺う。</p> <p>(1) 新富士市長誕生を契機とした関係構築について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 新たに就任された富士市長との間で、既に意見交換やトップ会談は行われているのか。また、今後、定期的な首長間協議の場を設ける考えはあるか。</p> <p>(3) 現在、本市と富士市との間では、どのような分野で広域連携が行われているのか。分野ごとの現状と課題について伺う。</p> <p>(4) 特に地域医療については、両市で富士医療圏を構成している。富士市における富士市立中央病院新病院建設基本計画（案）では、新病院の目指す姿として、「富士医療圏では各公立病院が担う役割が大きく、入院患者や救急搬送患者の診療・収容エリアが分担されていることから、圏域内の医療需要をカバーできるよう適切に役割・機能を分担しながらも、密接な連携体制を構築していきます」とある。富士地域医療構想調整会議での情報共有や連携はあると理解しているが、富士宮市は今後、どのように「密接な連携体制を構築」していく考えがあるのか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	どうなってるの？部活動の地域移行・地域展開			<p>富士宮市立中学校では、部活動の地域移行・地域展開について令和6年度からモデル部試行が始まった。教員の働き方改革や少子化といった社会課題に対応し、生徒たちが将来にわたって豊かにスポーツ・文化活動に親しめる環境を整えるための重要な改革である。費用負担や指導者確保など多くの課題も存在するが、関係者が知恵を出し合い、連携することで乗り越えていくことが求められる。</p> <p>一方、当事者である生徒や保護者からは、いつから、どのような心構えで準備をすればいいのかを不安視する声が挙がっている。地域の実情に合わせたソフトランディングを成功させるため、以下伺う。</p> <p>(1) 今後のタイムスケジュールについて、令和6年11月定例会にて、「令和7年度には（仮称）富士宮市部活動協議会を立ち上げ、今後の地域連携、地域移行の在り方について検討をして実施計画を策定する予定」「現在のタイムスケジュールの詳細は未定」との教育長答弁があったが、その後の進捗状況は。</p> <p>(2) 令和8年度は推進事業を予算計上し、コーディネーターを配置予定としているが、どのような役割を求めているのか。</p> <p>(3) スポーツ庁及び文化庁は令和8年度からを「改革実行期間」と位置づけている。改革を実行するための人員体制を整えているか。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

令和8年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	1	議席 番号	6	氏名	中 野 健太郎 議員	2 / 2
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
		<p>(4) 特に平日部活動は指導を希望する教職員の兼職兼業への理解が必要と考える。地域展開後も部活動に携わりたいと考える教職員はどの程度存在するのか。</p> <p>(5) 平日と休日の活動の違いや、受益者負担の考え方といった運営方針の情報発信に努め、ロードマップをきちんと示し、地域で安心して部活動を続けられるよう説明すべきと考えるが、いかがか。</p>				